平成21年度第5回府中市男女共同参画推進懇談会会議録

I 日 時 平成22年1月29日(木)午後6時半~9時15分

Ⅱ 場 所 女性センター 第1会議室

Ⅲ 出 席

(i) 委 員

小西会長、青野委員、明石委員、井沢委員、江田委員、後藤委員、中里委員、中嶋委員、日高委員、藤田委員、諸橋副会長、四井委員

(i) 事務局

森井市民活動支援課男女共同参画担当主幹、松井男女共同参画推進係長、 大沢事務職員

IV 欠 席

なし

V 傍聴者

なし

- VI 会議内容
 - 1 開会
 - 2 前回の議事録の確認 異議なく承認された。
 - 3 配布資料確認

資料 1 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書第三者評価(案)【事前配布】

4 報告事項

なし

- 5 協議事項
 - (1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 第三者評価について 第3回会議から協議している第三者評価案について、次頁のとおり意見があった。

| 項目番号 | 意見 |
|-------|--|
| 0 1 9 | ① 取組の広報活動を行い、防災対策に備えて欲しい。 |
| | ② 防災会議に女性を入れて欲しい。 |
| 0 2 1 | ① 前年度の改善策等の提言を活かして欲しい。 |
| | ② 数値での目標提示はできないということだが、毎年の受験者数等、可能な限り数値 |
| | を記載して欲しい。 |
| 023 | ① 前年度の提言について、実際の事業では反映されているようだが、触れられていな |
| | いので、実績等に記載して欲しい。 |
| | ② 受講者数等の数値を記載して欲しい。 |
| 0 2 9 | ① 前年度の提言が活かされている。 |
| | ② 労働ガイドブックを配布するのみでは、具体的にどのように啓発されているかが分 |
| | かりづらい。 |
| | ③ 総合評価の判定理由において、「市民全体」という言葉を用いているが、公共施設で |
| | 配布しているのみであるので、「市民に」という表現に訂正する。 |
| | ① 利用人数が増加しているため総合評価を検討したらどうか。 |
| | ② 実施する施設数が増えていないのに、利用人数が増えているが、いわゆる「詰め込 |
| 0 3 2 | み」になっていないか。 |
| | ③ 実施する施設数を増やせるよう、努力して欲しい。 |
| | ④ 改善策等の提言で利用率を上昇させることを記載しているが、一時保育の利用率を しばることを記載しているが、一時保育の利用率を |
| | 上げることを目標としても良いのか。 |
| 0 3 6 | ① 前年度に待機児童数を記載するように提言しており、これが記載されるようになっ * |
| | た。 ② 変化に対応することは難しいが、待機児童を減らすために努力して欲しい。 |
| | ③ 待機児童数は増えているが、入所定員も増えているので、施策が後退しているとは |
| | 一概に言えない。 |
| 0 4 6 | 事業の参加者数等について、表があるとわかりやすい。 |
| | |
| 0 5 8 | ① 前年度の改善策等の提言を活かして欲しい。 |
| 068-1 | ① リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉を普及させる必要がある。 |
| | ② 関連部署と連携して事業を実施させることが必要である。 |
| | ③ 就労している女性は会社から情報を得ることができるため、それ以外の女性に対し |
| | て、どのように周知するかが課題である。 |
| 070-1 | ① 前年度の改善策等の提言を活かして欲しい。 |
| | ② ポスターを描いたときに、どのような指導をしているのか記載して欲しい。ただ、 |
| | ポスターを描くというだけでは、啓発とはいえないのではないか。 |
| | ③ 同項目の事業を実施している、学務保健課、指導室と連携して事業を行って欲しい。 |
| 070-2 | ① 啓発活動の具体的な内容を記載して欲しい。 ② 同項目の事業を実施している、健康推進課、指導室と連携して事業を行って欲しい。 |
| 070-3 | ② 同項目の事業を美施している、健康推進課、指導室と連携して事業を行うて依しい。 ① 前年度の改善策等の提言を活かして欲しい。 |
| | ② 同項目の事業を実施している、健康推進課、学務保健課と連携して事業を行って欲 |
| | ② 同項目の事業を実施している、健康推進隊、子務保健隊と連携して事業を打って係 しい。 |
| 0.7.7 | |
| 077 | |
| 083-3 | ① 改善策等の提言の「他機関の機能を」という部分を「NPO等、他機関の機能を」 |
| | と訂正したらどうか。 |

| 項目番号 | 意 見 |
|-------|---|
| 085-1 | ① 総合評価の判定理由で「専門家による相談体制はほぼ充実している」としているの |
| | で、総合評価を再検討する必要がある。 |
| | ② 数値目標を全対象者としているが、具体的な人数を記載して欲しい。 |
| 085-2 | ① 相談窓口を持つ各課の全庁的な連携が必要である。 |
| | ② 数値目標は、内容的に数値化は難しいということであるが、文章で良いので何らか |
| | の目標を立てて欲しい。 |
| 085-3 | ① 相談窓口を持つ各課の全庁的な連携が必要である。 |
| 085-4 | ① 総合評価の判定理由について、相談件数が少ないことについて触れているが、一概 |
| | に件数の増加が良いことではないので、再考が必要である。 |
| | ② 相談窓口を持つ各課の全庁的な連携が必要である。 |
| 085-5 | ① メンタルフレンド、スクールカウンセラーの配置状況(相談実施日や人数等)につ |
| | いて記載して欲しい。 |
| 0 8 8 | ① 具体的な指導内容について記載して欲しい。 |
| 0 9 9 | ① 総合評価の判定理由の「購読」という言葉を「配布」に訂正する。 |
| | ② 女性センター情報誌「スクエア21」についても記載して欲しい。 |

(2) その他

次回の会議は、平成22年3月17日(水)午後6時半からとした。

6 閉会